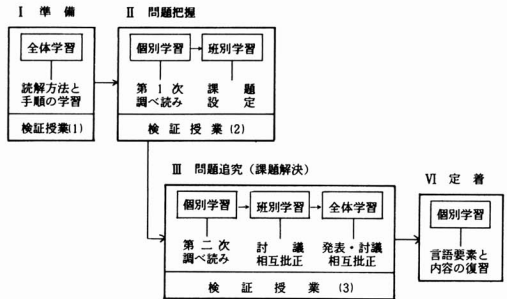


3. 計画

- (1) 方法 一群法による
- (2) 対象 2年2組(女子 32名)
- (3) 組織 個人研究
- (4) 日程

- ①事前研究の段階
  - ア 研究計画の樹立(6月)
  - イ 実態調査(6月)
  - ウ 研究主題の設定(6月)
  - エ 仮説の設定(6月)
  - オ 文献研究(6~8月)
- ②検証の段階
  - ア 教材研究(8月)
  - イ 指導計画作成(8月)
  - ウ 事前テスト実施(9月)
  - エ 検証授業(10月)
  - オ 事後・把握テスト実施(10月)
- ③整理の段階
  - ア データの処理・分析(11月)
  - イ 研究のまとめと反省(12月)
  - ウ 研究報告書の作成(12月)

- ウ 事前・事後・把持テスト, 意識調査用紙の作成
- エ 文献研究
- オ 指導過程の設定  
生徒の問題意識を大切に設定した。



4. 概要と考察

(1) 研究の経過

①検証までの準備

ア 教材の選択と教材研究

研究対象学級の学力上の弱点を指導するのに適当と思われる教材として, 小林秀雄氏の「常識」を選定した。

イ 目標分析と自己診断票作成

書かれている内容と, 筆者の現実認識の論理構造とを読み取る手順を示すと同時に学習のつまずきを発見する手だてともなる自己診断票を作成した。〈表3〉

〈表3〉 自己診断票

説明的文章学習の自己診断票		( )年( )組( )番 氏名( )
できる○ できない× を記入して, 毎時間提出。×の者は質問事項を記入する。		
過程	学習の目標	質問事項
導入	説明的文章の学習目標と学習方法を理解することができる。	
概略読み	1. 題名を読んで, 話題を予想することができる。 2. 関係づけや疑問点の書き込みをしながら, 全文を読み通すことができる。 3. 話題を中心にして, 概略を読み取ることができる。 4. 辞書を使って, 漢字の読みや意味を調べることができる。	小段落についての○× ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫...
分析	1. 内容を正確に読み取ることができる。(語句の意味, 指示語, 文法事項等) 2. 要点にサイドラインを引くことができる。 3. 要点と細部との関係を説明することができる。 4. 要点を確認して, まとめプリントに文章化することができる。	
読み	5. この段落の機能を説明することができる。 1. 形式段落の相互関係を読み取って, 意味段落を指摘することができる。 2. 意味段落の要旨を, まとめプリントに文章化することができる。 3. 意味段落に見出しをつけることができる。	
まとめ	1. 題名と照らし合わせて, 全体の中心段落を指摘することができる。 2. 文章全体の論理構造を, まとめプリントに図示することができる。 3. 全体の要旨をまとめプリントに文章化することができる。	
発展	1. 筆者の考え方, 論理の展開の特色をつかみ, 自分の意見を文章化することができる。 2. 同じ話題を扱った他の文章を選んで読むことができる。	

②検証指導計画

ア 単元名 評論 「現代と人間」

イ 指導計画 総時間9時間

(1)	第1時	学習目標と手順の確認 全文通読 話題の概略
	第2時	第一次調べ読み 学習課題設定(個人思考)
(2)	第3時	学習課題設定(班別学習)→学習課題集作成
	第4時	学習課題解決を中心とする読解(班別→全体での共同思考)
	第5時	同上
(3)	第6時	同上
	第7時	同上
	第8時	全体の論理構造図示 要旨のまとめ
	第9時	言語要素や内容の復習

※(1)(2)(3)を検証授業とする。